

おしらせ



各種ワクチン
接種していま
す



★インフルエン
ザ★

65歳以上

→ ¥ 1, 000

★肺炎(球菌)ワクチン★
中学生～64歳

→ ¥ 2, 100

0

肺炎球菌は
お年寄りの肺炎の
最も多い病原菌です。

ワクチンの効果は5～8年ほ
ど持続します。次の様な方
には特にお勧めです。

- ◆75歳以上の方
- ◆糖尿病、肝臓病の方



林内科かわら版

平成18年10月27日発行

～第8号～

言 い訳は悪魔の囁き？



ヒトはよく言い訳をします。私などはもう言い訳のオンパレードみたいなものです。特にテニス、ゴルフをしている時など、心の中は言い訳だらけ。それが時につい口をついて出てしまうことも多い。自分のミスが風や雨のせいであったり、芝の状態であったり、自分の体調のせいであったりと、言い訳の種には事欠きません。どうやら人間というのは言い訳をして自分を納得させて心身のバランスをとっているところがあるらしい。

さて、ひるがえって我が患者さん達の場合はどうでしょうか、検査データを示されて、生活習慣の悪さを来院の度に言われて、もうウンザリしている人も多いと思います。「お酒、タバコを控えなさい」「体重はもう少し減らせませんか」「運動はした方が良いですよ」等々。一握りの人達は理解し、素直に努力を誓ってくれるのですが、大多数の人は言い訳が返って来ます。曰く「酒が飲めないなら生きていてもつまらない」「飲まないと眠れない」「楽しみが何もなくなる」「食事の量を減らしたら力が入らない」「何もヤル気がなくなってしまう」「膝・腰が痛くて運動出来ない」「ヒマがない」「水を飲んでも太る体質なので」等と枚挙にいとまありません。言い訳は己の弱さの現れで、それはそれで私も理解できるのですが、理解した上で、医者としての立場上、何とか少しでも改善の為の工夫なり、試みなりが出来ないものかと思うのです。高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病は痛みを伴う病気ではありません。徐々にジワリと来るものです。自覚症状が出た時には本人はもとより、御家族皆が大変辛い目に合うのです。脳卒中、心筋梗塞などになったら大変です。身体活動も社会的活動も制限されてしまうのですから。

結局、言い訳は患者さんの知性と努力に挑戦する悪魔の囁きということになりますか。



ちよっと腹の立ちはなし

8月初旬、朝の出勤途中、停まっている私の車に突然ドーンと衝撃あり。追突だ！降りて来たのは、貧相で栄養状態の悪そうな20歳前後の小柄な若者。鉄筋工との事でダボダボの作業ズボンをはいている。「保険入っているのか」と思わず聞いてしまう私。案の定、任意保険は入っていない。「保険も入らないで車なぞ乗るなよ。どうやって払うつもりだ」と私。「給料から少しずつ払います」と言う。事故処理のため交番へ行って、現場検証してもらったが、人身事故扱いにしたら若者も可哀相かと思ひ、多少の痛み、シビレも我慢出来るので、事故扱いにしなかった。後日、車の修理に75万かかるとのことだが、彼はローンも組めない、保証人も立てられないとのこと。仕方なく私の車輛保険を使って直すことにした。しかし彼はその後一度も自ら電話もなく、こちらから電話すると留守録にして出ない。何度かけても出ない。保険屋さんのお話によると、保険に入らない若者が増えているとのこと。この若者に何とか社会的責任を取らせたいのですが、難しいでしょうね。こんな日本語の通じない、常識の通じない若者が蔓延しているとしたら、幼児殺し、虐待などのニュースの増加も十分うなずける話です。



新 受付スタッフご紹介

9月末から新しく、**河村 英里香**が受付スタッフになりました。早く慣れて、親切丁寧な窓口になるように、笑顔で頑張っています！！どうぞ宜しく
お願い致します。

